# シラバス

## 平成27年度

1年次

医療プロフェッショナリズムⅠ

生命科学特論・研究Ⅰ

千葉大学医学部

# 目　次


コンピテンシー達成レベル表 ………… 1

科目評価アンケートについて ………… 5

医療プロフェッショナリズムⅠ

　導入PBLテュートリアルユニット ………… 9

　チーム医療Ⅰ（IPE Ⅰ）ユニット ………… 13

生命科学特論・研究Ⅰ

　スカラーシップ・ベーシックプログラム ………… 21

６年一貫医学英語プログラム ………… 25

１年次スケジュール ………… 35

# コンピテンシー達成レベル表

| レベル(達成度) | Advanced | Applied | Basic | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ.倫理観とプロフェッショナリズム | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は、卒業時に | A | B | C | D | E | F |
| 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理観を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。 | 診療の場で医師としての態度・価値観を示せることが単位認定の要件である | 医師としての態度・価値観を模擬的に示せることが単位認定の要件である | 基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である | 経験する機会はあるが、単位認定に関係ない | 経験する機会がない |
| Ⅱ. コミュニケーション | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は、卒業時に | A | B | C | D | E | F |
| 他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。 | 診療の一部として実践することが単位認定の要件である | 模擬診療を実施できることが単位認定の要件である | 基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である | 経験する機会があるが、単位認定に関係ない | 経験する機会がない |
| Ⅲ. 医学および関連領域の知識 | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は、卒業時に | A | B | | D | E | F |
| 医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。 | 実践の場で問題解決に応用できることが単位認定の要件である | 問題解決に応用できる知識を示せることが単位認定の要件である | | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である | 修得する機会があるが、単位認定に関係ない | 修得する機会がない |
| Ⅳ. 診療の実践 | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は、卒業時に | A | B | C | D | E | F |
| 患者に対して思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。 | 診療の一部として実践できることが単位認定の要件である | 模擬診療を実施できることが単位認定の要件である | 基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である | 経験する機会があるが、単位認定に関係ない | 経験する機会がない |
| Ⅴ. 疾病予防と健康増進 | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は、卒業時に | A | B | C | D | E | F |
| 保健・医療・福祉の資源を把握・活用し、必要に応じてその改善に努めることができる。 | 実践できることが単位認定の要件である | 検証と改善計画立案のできることが単位認定の要件である | 基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である | 経験する機会があるが、単位認定に関係ない | 経験する機会がない |
| Ⅵ. 科学的探究 | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は、卒業時に | A | B | C | D | E | F |
| 基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。 | 実践できることが単位認定の要件である | 研究計画の立案、研究の見学、参加が単位認定の要件である | 基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である | 経験する機会があるが、単位認定に関係ない | 経験する機会がない |

| | 学年 | 1 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | コース・ユニット名 | 普遍教育科目（英語，情報リテラシー，教養科目など） | 専門基礎科目（数学，物理学，化学） | 医療プロフェッショナリズムI<br>導入PBL テュートリアル | 医療プロフェッショナリズムI<br>チーム医療I（IPE I） | 医学英語<br>医学英語I | 生命科学特論・研究I<br>スカラーシップ・ベーシック |
| | ナンバリング・水準コード | | 102〜104 | 111 | 121 | 101 | 291 |
| **I．倫理観とプロフェッショナリズム** | | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>患者とその関係者，医療チームのメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。<br>卒業生は： | | | | | | | |
| 1 | 倫理的問題を理解し，倫理的原則に基づいて行動できる。 | C/D | F | C | E | D | D |
| 2 | 法的責任･規範を遵守する。 | C/D | F | C | C | F | E |
| 3 | 他者の尊厳を尊重し，利他的，共感的，誠実，正直に対応できる。 | C/D | F | C | C | F | F |
| 4 | 患者とその関係者の心理･社会的要因と異文化，社会背景に関心を払い，その立場を尊重する。 | C/D | F | C | C | F | F |
| 5 | 常に自己を評価・管理し，自分の知識，技能，行動に責任を持つことができる。 | C/D | F | C | C | F | C |
| 6 | 専門職連携を実践できる。 | C/D | F | E | C | F | C |
| 7 | 自らのキャリアをデザインし，自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 | C/D | E | C | C | D | C |
| 8 | 同僚，後輩に対する指導，助言ができる。 | C/D | F | C | C | E | E |
| **II．コミュニケーション** | | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>他者を理解し，お互いの立場を尊重した人間関係を構築して，医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。<br>卒業生は： | | | | | | | |
| 1 | 患者，患者家族，医療チームのメンバーと，個人，文化，社会的背景を踏まえて傾聴，共感，理解，支持的態度を示すコミュニケーションを実施できる。 | C/D | F | C | C | E | E |
| 2 | コミュニケーションにより，患者，患者家族，医療チームのメンバーとの信頼関係を築き，情報収集，説明と同意，教育など医療の基本を実践できる。 | C/D | F | C | C | E | E |
| 3 | 英語により医学・医療における情報を入手し，発信できる。 | C/D | F | E | E | C | C/D |

| 学年 | 1 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| コース・ユニット名 | 普遍教育科目（英語，情報リテラシー，教養科目など） | 専門基礎科目（数学，物理学，化学） | 医療プロフェッショナリズムI 導入PBLテュートリアル | 医療プロフェッショナリズムI チーム医療I（IPEI） | 医学英語 医学英語I | 生命科学特論・研究I スカラーシップ・ベーシック |
| ナンバリング・水準コード | | 102～104 | 111 | 121 | 101 | 291 |
| **Ⅲ．医学および関連領域の知識** | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>医療の基盤となっている以下の基礎，臨床，社会医学等の知識を有し応用できる。 | | | | | | |
| 1 正常な構造と機能 | D | D | E | E | E | E |
| 2 発達，成長，加齢，死 | D | D | E | E | E | E |
| 3 心理，行動 | D | F | E | E | E | E |
| 4 病因，構造と機能の異常 | D | F | E | E | E | E |
| 5 診断，治療 | D | D | E | E | E | E |
| 6 医療安全 | D | D | E | D | E | E |
| 7 疫学，予防 | D | F | E | E | E | E |
| 8 保健・医療・福祉制度 | D | F | E | D | E | E |
| 9 医療経済 | D | F | E | E | E | E |
| **Ⅳ．診療の実践** | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>患者に対して思いやりと敬意を示し，患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。<br>卒業生は： | | | | | | |
| 1 患者の主要な病歴を正確に聴取できる。 | C/D | F | E | E | F | F |
| 2 成人及び小児の身体診察と基本的臨床手技を適切に実施できる。 | C/D | F | E | E | F | F |
| 3 臨床推論により疾患を診断できる。 | C/D | F | E | E | F | F |
| 4 頻度の高い疾患の診断と治療に必要な検査を選択し，結果を解釈できる。 | C/D | D | E | E | F | F |
| 5 頻度の高い疾患の適切な治療計画を立てられる。 | C/D | D | E | E | F | F |
| 6 医療文書を適切に作成し，プレゼンテーションできる。 | C/D | E | C | C | E | D |
| 7 Evidence-based medicine（EBM）を活用し，安全な医療を実施できる。 | C/D | F | E | C | E | F |
| 8 病状説明・患者教育に参加できる。 | C/D | F | E | E | F | F |
| 9 診断・治療・全身管理に参加できる。 | C/D | F | E | E | F | F |

| 学年 | 1 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| コース・ユニット名 | 普遍教育科目（英語，情報リテラシー，教養科目など） | 専門基礎科目（数学，物理学，化学） | 医療プロフェッショナリズムI<br>導入PBLテュートリアル | 医療プロフェッショナリズムI<br>チーム医療I（IPEI） | 医学英語<br>医学英語I | 生命科学特論・研究I<br>スカラーシップ・ベーシック |
| ナンバリング・水準コード | | 102〜104 | 111 | 121 | 101 | 291 |
| **V．疾病予防と健康増進** | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>保健・医療・福祉の資源を把握・活用し，必要に応じてその改善に努めることができる。<br>卒業生は： | | | | | | |
| 1 保健・医療・福祉に必要な人材・施設を理解し，それらとの連携ができる。 | D | F | E | D | F | F |
| 2 健康･福祉に関する問題を評価でき，疾病予防・健康増進の活動に参加できる。 | D | F | E | E | F | F |
| 3 地域医療に参加しプライマリケアを実践できる。 | D | F | E | E | F | F |
| 4 医療の評価・検証とそれに基づく改善に努めることができる。 | D | F | E | E | F | E |
| **Ⅵ．科学的探究** | | | | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>基礎，臨床，社会医学領域での研究の意義を理解し，科学的情報を評価し，新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。<br>卒業生は： | | | | | | |
| 1 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。 | C/D | E | E | C | D | D |
| 2 科学的研究で明らかになった新しい知見・高度先進医療を説明できる。 | C/D | E | E | E | E | D |
| 3 未知・未解決の臨床的あるいは科学的問題を発見し，解決に取組むことができる。 | C/D | E | E | E | E | E |

# 科目評価アンケートについて

各科目の授業終了後にムードルを利用して科目評価アンケートをして下さい。これは，来年度の当該科目の改善・発展のための資料となりますので，必ず記入・提出して下さい。このような評価を通してカリキュラムの改善に貢献することは，卒業コンピテンシー（**V．疾病予防と健康増進　4．医療の評価・検証とそれに基づく改善に努めることができる。**）に対応しますので，学習の一部になっていることを銘記して下さい。

# 医療プロフェッショナリズムⅠ

| | |
|---|---|
| Ⅰ　科目（コース）名 | 医療プロフェッショナリズムⅠ |
| Ⅱ　コースの概要並びに学習目標 | 患者・家族，医療チーム，社会との関係における医師のプロフェッショナリズムについて理解し，実践していくための入学から卒業時まで継続するプログラムの最初の段階である。少人数によるグループ学習，他学部学生との協働による学内・外施設での体験・振り返りを通してプロフェッショナリズムの構成要素である共感的コミュニケーション，自己主導型学習，責任ある行動を修得することを目標とする。 |
| Ⅲ　科目(コース)責任者 | 朝比奈　真由美 |
| Ⅳ　対象学年 | １年次 |
| Ⅴ　構成ユニット | |

| ユニット | ユニット責任者 | 時期 |
|---|---|---|
| 導入PBLテュートリアル | 伊　藤　彰　一 | 前期 |
| チーム医療Ⅰ（IPEⅠ） | 朝比奈　真由美 | 前期 |

# 導入PBLテュートリアルユニット

**1）ユ ニ ッ ト 名**　導入PBLテュートリアル

**2）ユニット責任者**　伊　藤　彰　一

**3）ユ ニ ッ ト 期 間**　前期

**4）ユニット担当教員一覧**…医学部moodleを参照してください。

**5）ユニットの概要**

目指すべき医師像を考え，卒業時アウトカムを理解する。アウトカムを達成するための学習リソースの種類と使用法を知り，効果的な学習方法の一部を実践的に理解する。講義，小グループ学習（KJ法による討議，PBLテュートリアルなど），学習成果発表を通して，自らを振り返り，医師になるための自律的学習能力，問題解決能力，コミュニケーション能力の基礎を身に付ける。

**6）ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル**

**・ゴール**

卒業時アウトカムを理解し，自らを振り返り，医師になるための自律的学習能力，問題解決能力，コミュニケーション能力の基礎を身に付ける。

**・コンピテンス達成レベル表**

| 学習アウトカム | | 科目達成レベル<br>（導入PBLテュートリアル） | |
|---|---|---|---|
| **Ⅰ．倫理観とプロフェッショナリズム** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>患者とその関係者，医療チームのメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。 | | | |
| 1 | 倫理的問題を理解し，倫理的原則に基づいて行動できる。<br>1．呈示されたシナリオに内包される倫理的問題を理解する。 | C | 基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である |
| 2 | 法的責任・規範を遵守する。<br>2．ルールを守る。 | | |
| 3 | 他者の尊厳を尊重し，利他的，共感的，誠実，正直に対応できる。<br>3．メンバー，テューターに対して利他的，共感的，誠実，正直に対応できる。 | | |
| 4 | 患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化，社会背景に関心を払い，その立場を尊重する。<br>4．メンバーの心理や背景に関心を払い，その立場を尊重する。 | | |
| 5 | 常に自己を評価・管理し，自分の知識，技能，行動に責任を持つことができる。<br>5．自己の能力を評価し，自分の知識，発言に責任を持つことが出来る。 | | |
| 7 | 自らのキャリアをデザインし，自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。<br>6．自らのキャリア・デザインや，自己主導型学習が自己の向上に重要であることを理解する。 | | |
| 8 | 同僚，後輩に対する指導，助言ができる。<br>7．同僚に対する助言が出来る。 | | |

| | 学習アウトカム | | 科目達成レベル<br>(導入PBLテュートリアル) |
|---|---|---|---|
| **Ⅱ．コミュニケーション** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>他者を理解し，お互いの立場を尊重した人間関係を構築して，医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。 | | | |
| 1 | 患者，患者家族，医療チームのメンバーと，個人，文化，社会的背景を踏まえて傾聴，共感，理解，支持的態度を示すコミュニケーションを実践できる。<br>8．チームメンバー，テューターと傾聴，共感，理解，支持的態度を示すコミュニケーションを実践できる。 | C | 基盤となる態度，スキルを示せることが単位認定の要件である |
| 2 | 患者，患者家族，医療チームのメンバーとの信頼関係を築き，情報収集・伝達，説明と同意，教育など医療の基本を実践できる。<br>9．チームメンバー，テューターと信頼関係を築き，情報収集・伝達を実践できる。 | | |
| **Ⅳ．診療の実践** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>患者に対して思いやりと敬意を示し，患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。 | | | |
| 6 | 医療文書を適切に作成し，プレゼンテーションできる。<br>10．説明資料やレポートを適切に作成し，プレゼンテーションできる。 | C | 基盤となる態度，スキルを示せることが単位認定の要件である |

**7）授業スケジュール**

P.11参照

**8）評　価　法**

テューターによる観察記録（50%），レポート・ポートフォリオ（30%），発表（各グループで選択したテーマについてまとめ，発表する）（20%）

プロフェッショナリズムに反する行為のあった場合，その内容，程度により評価が減点される。

・**授業スケジュール**

| | 授業実施日 | 時限 | 場　所 | 担当教員 | 授業種別 | 授業内容 | 授業内容の key word | 授業課題（予習，自習課題） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1・2 | 5月20日(水) | Ⅰ・Ⅱ | 図書館 | 担当教員 | 講義，演習 | 図書館利用法，ITを利用した情報収集 | 情報収集，IT，図書館 | |
| 3・4 | 5月27日(水) | Ⅰ・Ⅱ | 第一講義室他 | 伊藤 | 講義，演習 | オリエンテーション | 目指すべき医師像 | |
| 5・6 | 6月3日(水) | Ⅰ・Ⅱ | 第一講義室 | 伊藤 | 講義，演習 | 卒業時アウトカムレポート作成，ICT利用 | アウトカム，コンピテンシー，レポート，Moodle，ポートフォリオ | |
| 7・8 | 6月10日(水) | Ⅰ・Ⅱ | テュートリアル室等 | テューター | 演習 | テュートリアル | PBLテュートリアル，グループ学習，問題解決 | テーマについての学習 |
| 9・10 | 6月17日(水) | Ⅰ・Ⅱ | テュートリアル室等 | テューター | 演習 | テュートリアル | PBLテュートリアル，グループ学習，問題解決 | テーマについての学習 |
| 11・12 | 6月24日(水) | Ⅰ・Ⅱ | テュートリアル室等 | テューター | 演習 | テュートリアル | PBLテュートリアル，グループ学習，問題解決 | テーマについての学習 |
| 13・14 | 7月1日(水) | Ⅰ・Ⅱ | テュートリアル室等 | 伊藤 | 演習 | 発表会準備 | 学習方法，プレゼンテーション，振り返り | 発表会準備 |
| 15・16 | 7月8日(水) | Ⅰ・Ⅱ | 第一講義室 | 伊藤 | 講義，演習 | 発表会（テュートリアルの振り返り） | 学習方法，プレゼンテーション，振り返り | |

# チーム医療Ⅰ（IPE Ⅰ）ユニット

**1）ユ ニ ッ ト 名**　チーム医療Ⅰ（IPE Ⅰ）

**2）ユニット責任者**　朝比奈　真由美

**3）ユ ニ ッ ト 期 間**　前期

**4）ユニット担当教員一覧**…医学部moodleを参照してください。

**5）ユニットの概要**

Step 1「共有」は，患者やサービス利用者とふれあう体験，コミュニケーション・ワークショップや，数々のグループワークなどをとおして，「専門職としての態度の基礎を形成し，患者・サービス利用者および他学部の学生とコミュニケーションできる能力」を身につけるステップである。

**6）ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル**

専門職としての態度の基礎を形成し，患者・サービス利用者および他学部の学生とコミュニケーションできる能力。

Step 1の終了時，学生は以下のことができる。

Ⅰ．専門職として成長するために何が必要かを考えることができる

Ⅱ．チームメンバーそれぞれの専門領域の役割機能を理解し尊重できる

Ⅲ．チームの取り組みと成果を説明できる

Ⅳ．患者・サービス利用者とのコミュニケーションから，患者・サービス利用者の体験と希望を理解できる

Ⅴ．チームメンバー，他の専門職及び教員と肯定的なコミュニケーションをとることができる

Ⅵ．チームの目標達成のために自己の責任を果たすことができる

**・コンピテンス達成レベル表**

<table>
<tr><th colspan="2">学習アウトカム</th><th colspan="2">科目達成レベル<br>（チーム医療Ⅰ（IPE Ⅰ））</th></tr>
<tr><td colspan="4">Ⅰ．倫理観とプロフェッショナリズム</td></tr>
<tr><td colspan="4">千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>患者とその関係者，医療チームのメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。</td></tr>
<tr><td colspan="4">＜医師としての考え，態度＞</td></tr>
<tr><td>2</td><td>法的責任･規範を遵守する。<br>・グランド・ルールを守る</td><td>C</td><td rowspan="5">基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である</td></tr>
<tr><td>3</td><td>他者の尊厳を尊重し，利他的，共感的，誠実，正直に対応できる。<br>・患者，チームメンバー，教員に対して利他的，共感的，誠実，正直に対応できる。</td><td>C</td></tr>
<tr><td>4</td><td>患者とその関係者の心理･社会的要因と異文化，社会背景に関心を払い，その立場を尊重する。<br>・患者の心理･社会的要因と異文化，社会背景に関心を払い，その立場を尊重する。</td><td>C</td></tr>
<tr><td>5</td><td>常に自己を評価・管理し，自分の知識，技能，行動に責任を持つことができる。<br>・責任ある行動がとれる。</td><td>C</td></tr>
<tr><td>6</td><td>専門職連携を実践できる。<br>・お互いから学び合うことができる。<br>・チームの一員として有効な活動ができる。</td><td>C</td></tr>
</table>

| | 学習アウトカム | | 科目達成レベル（チーム医療Ⅰ（IPE Ⅰ）） |
|---|---|---|---|
| 7 | 自らのキャリアをデザインし，自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。<br>・学生としての自己目標を設定できる。<br>・自己評価ができる。 | C | 基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である |
| 8 | 同僚，後輩に対する指導，助言ができる。<br>・お互いから学び合うことができる。 | C | |
| **Ⅱ．コミュニケーション** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>他者を理解し，お互いの立場を尊重した人間関係を構築して，医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。 | | | |
| 1 | 患者，患者家族，医療チームのメンバーと，個人，文化，社会的背景を踏まえて傾聴，共感，理解，支持的態度を示すコミュニケーションを実践できる。<br>・患者・チームメンバーと傾聴，共感，理解，支持的態度を示すコミュニケーションを実施できる。 | C | 基盤となる態度，スキルを示せることが単位認定の要件である |
| 2 | 患者，患者家族，医療チームのメンバーとの信頼関係を築き，情報収集・伝達，説明と同意，教育など医療の基本を実践できる。<br>・患者・チームメンバーと信頼関係を構築できる。 | C | |
| **Ⅲ．医学および関連領域の知識** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>医療の基盤となっている以下の基礎，臨床，社会医学等の知識を有し応用できる。 | | | |
| 6 | 医療安全<br>・医療安全について理解する。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |
| 8 | 保健・医療・福祉制度<br>・保健・医療・福祉制度を理解する。 | D | |
| **Ⅳ．診療の実践** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>患者に対して思いやりと敬意を示し，患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。 | | | |
| 6 | 医療文書を適切に作成し，プレゼンテーションできる。<br>・リフレクションシートを記載し，レポートを作成できる。 | C | 基盤となる態度，スキルを示せることが単位認定の要件である |
| 7 | Evidence-based medicine（EBM）を活用し，安全な医療を実施できる。<br>・明確な根拠に基づいたレポートを作成できる。 | C | |
| **Ⅴ．疾病予防と健康増進** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>保健・医療・福祉の資源を把握・活用し，必要に応じてその改善に努めることができる。 | | | |
| 1 | 保健・医療・福祉に必要な人材・施設を理解し，それらとの連携ができる。<br>・各種の医療専門職を理解する。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |

<table>
<tr><td colspan="2">学習アウトカム</td><td colspan="2">科目達成レベル<br>（チーム医療Ⅰ（IPEⅠ））</td></tr>
<tr><td colspan="4">Ⅵ．科学的探究</td></tr>
<tr><td colspan="4">千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>基礎，臨床，社会医学領域での研究の意義を理解し，科学的情報を評価し，新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。</td></tr>
<tr><td>1</td><td>医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。<br>・科学的情報を収集する方法を理解する。<br>・明確な根拠に基づいた考察ができる。</td><td>C</td><td>基盤となる態度，スキルを示せることが単位認定の要件である</td></tr>
</table>

**７）授業スケジュール**

P.16～17参照

**８）評　　価　　法**

グループ（ユニット）討議への参加（観察記録）（20%），自己評価表・グループ（ユニット）評価表の提出状況および授業の記録・リフレクションシートの内容（30%），ユニット発表の内容（20%），最終レポートの内容（30%）から学習目標達成状況に関して成績評価を行なう。

プロフェッショナリズムに反する行為のあった場合，その内容，程度により評価が減点される。

**９）参　考　文　献**

１．酒井郁子，田邊政裕，石井伊都子：患者中心の医療の実現－千葉大学医療系学部からの発信－千葉日報社，2008
２．埼玉県立大学編：IPWを学ぶ－利用者中心の保健医療福祉，中央法規出版，2009
３．日本保健医療福祉連携教育学会誌　第１巻１号，第２巻１号
４．WHOの保健医療職育成ガイドライン2013（11の推奨項目のうち１つがIPE）
http://whoeducationguidelines.org/sites/default/files/uploads/WHO_EduGuidelines_20131202_Chapter4.pdf
５．CAIPE（英国の専門職連携教育センター）：http://www.caipe.org.uk/
６．JAIPE（日本保健医療福祉連携教育学会）：http://www.jaipe.jp/
７．亥鼻IPE：https://moodle01.m.chiba-u.jp/ipe/index.html

・授業スケジュール

| | 授業実施日 | 時限 | 場　所 | 担当教員 | 授業種別 | 授業内容 | 授業内容の key word | 授業課題（予習，自習課題） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1・2・3 | 4月15日(水) | Ⅲ〜Ⅴ | 病院にし棟講堂，CCSC＊ | 織田，渡邉，他 | 講義・実習（医学部） | 講義 救急蘇生実習＊＊ | Basic Life Support BSL | |
| 4・5 | 4月22日(水) | Ⅲ〜Ⅳ | CCSC＊ | 織田，渡邉，他 | 実習（医学部） | 救急蘇生実習＊＊ | Basic Life Support BSL | 自己評価・授業の内容・リフレクション |
| 6・7 | 5月20日(水) | Ⅲ・Ⅳ | 薬学部記念講堂，他 | IPE担当教員 | 講義（Shared learning） | IPEの意義，学習目標，学習の進め方，個人情報保護，感染症対策 | IPE，グランドルール，リフレクション | 自己評価・授業の内容・リフレクション |
| 8・9 | 5月27日(水) | Ⅲ・Ⅳ | 後日授業内で提示 | IPE担当教員 | 講義（Shared learning）演習（Mix group） | 当事者体験 医療の歴史 | | 自己評価・授業の内容・リフレクション |
| 10・11 | 6月3日(水) | Ⅲ・Ⅳ | 後日授業内で提示 | IPE担当教員 | 演習（Mix group） | 医療の歴史GW コミュニケーションワークショップ | | 自己評価・授業の内容・リフレクション |
| 12・13 | 6月10日(水) | Ⅲ・Ⅳ | 後日授業内で提示 | IPE担当教員 | 実習（Mix group） | ふれあい体験実習オリエンテーション | | 自己評価・授業の内容・リフレクション |
| 14・15・16 | 6月17日(水) | Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ | 附属病院，協力病院 | IPE担当教員，実習病院協力職員 | 実習（Mix group） | ふれあい体験実習①＊＊＊ | | 自己評価・授業の内容・リフレクション |
| 17・18・19 | 6月24日(水) | Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ | 附属病院，協力病院 | IPE担当教員，実習病院協力職員 | 演習（Mix group） | ふれあい体験実習②＊＊＊ | | 自己評価・授業の内容・リフレクション |
| 20・21 | 7月1日(水) | Ⅲ・Ⅳ | 後日授業内で提示 | IPE担当教員 | 演習（Mix group） | ふれあい体験実習ふりかえり | | 自己評価・授業の内容・リフレクション |
| 22・23 | 7月8日(水) | Ⅲ・Ⅳ | 後日授業内で提示 | IPE担当教員 | 実習（Mix group） | グループワーク発表準備 | | 自己評価・授業の内容・リフレクション |

| | 授業実施日 | 時限 | 場　所 | 担当教員 | 授業種別 | 授業内容 | 授業内容の key word | 授業課題 (予習，自習課題) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 24・25 | 7月15日㈬ | Ⅲ・Ⅳ | 後日授業内で提示 | IPE担当教員 | 演習（Unit） | 学習発表会 | | 自己評価・授業の内容・リフレクション |

＊ CCSC：千葉大学クリニカル・スキルズ・センター

＊＊救急蘇生実習は医学部学生のみが受講する。全体説明とグループ実習で実施する。

＊＊＊ 6 /17 と 6 /24 に体験実習①と②を行う。

実習のない日は自己学習を行う。

患者とのふれあい体験実習･･･各学部学生で構成された小グループで病院の患者との面接を行う。

# 生命科学特論・研究Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ | 科目（コース）名 | 生命科学特論・研究Ⅰ | |
| Ⅱ | コースの概要<br>並びに学習目標 | 医学の基盤となる生命科学の方法論を十分に修得し，その後の臨床医学の学習および独創的な発想による独自の専門領域研究を開拓するために，基礎医学系および臨床医学系各種研究領域の先端的または応用的研究に触れると共に，それらの実験科学を自ら体得する事によって，生命科学における科学的思考法を身につけ学問体系構築の道筋を理解する。 | |
| Ⅲ | 科目(コース)責任者 | 中　島　裕　史 | |
| Ⅳ | 対　象　学　年 | １年次～６年次 | |
| Ⅴ | 構成ユニット | | |

| ユニット | ユニット責任者 | 時期 |
|---|---|---|
| スカラーシッププログラム | 中　島　裕　史<br>白　澤　　　浩<br>坂　本　明　美<br>中　山　俊　憲 | 通年 |

# スカラーシップ・ベーシックプログラム

**1）ユ ニ ッ ト 名**　スカラーシッププログラム

**2）ユニット責任者**　中　島　裕　史，白　澤　　浩，坂　本　明　美，中　山　俊　憲

**3）ユニット担当教員一覧**…医学部moodleを参照してください。

**4）ユニットの概要**

本ユニットでは，医学，医療の発展のために必要となる，さらに高い学識的な思考と研究開発のための知識，技術，倫理観を，各研究室の研究・抄読会・カンファレンス等への参加（以下，研究への参加）を経験する事により修得する事を目指します。希望する研究室の研究およびBCRC（ちばBasic & Clinical Research Conference）に参加するベーシック（1，2年次対象，必修），3年次の講義「トランスレーショナル先端治療学」および「イノベーション医学」を含むアプライド（必修），研究発表および論文作成を行うアドバンスト（選択）からなります。

ガイダンス後，研究室を選択し，その指導教員（アカデミックメンター）の指示に従って，研究・抄読会・カンファレンス等に参加します。研究室の選択は変更も可能ですが，研究内容の継続性から原則として半年以上ひとつの研究室に所属することが求められます。

研究への参加に関する指導・相談はメンターがあたります。研究室の変更，中断の相談にはユニット責任者があたります。

アドバンストは，4～6年次を目安としていますが，各自の計画により全年次を通して自由に履修して構いません。

**5）ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル**

**・ゴール**

基礎，臨床，社会医学領域での研究の意義を理解し，科学的情報の評価，批判的思考ができる。新しい情報を生み出すための論理的思考を倫理原則に従って行うことができる。

**・コンピテンスと達成レベル**

<table>
<tr><th colspan="2">学習アウトカム</th><th colspan="2">科目達成レベル<br>（スカラーシップ・ベーシック）</th></tr>
<tr><td colspan="4">Ⅰ．倫理観とプロフェッショナリズム</td></tr>
<tr><td colspan="4">千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>患者とその関係者，医療チームのメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。</td></tr>
<tr><td>1</td><td>倫理的問題を理解し，倫理的原則に基づいて行動できる。<br>1）実験室，動物実験，患者に関する研究の倫理的事項を説明できる。</td><td>D</td><td>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</td></tr>
<tr><td>5</td><td>常に自己を評価・管理し，自分の知識，技能，行動に責任を持つことができる。<br>2）チームの一員として他の研究員とコミュニケーションをとり，責任ある行動ができる。</td><td>C</td><td rowspan="3">基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である</td></tr>
<tr><td>6</td><td>専門職連携を実践できる<br>2）チームの一員として他の研究員とコミュニケーションをとり，責任ある行動ができる。</td><td>C</td></tr>
<tr><td>7</td><td>自らのキャリアをデザインし，自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。<br>3）医学・医療の研究が社会の発展に貢献することを理解し，抄読会，カンファレンス等に積極的に参加できる。</td><td>C</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">学習アウトカム</td><td colspan="2">科目達成レベル<br>（スカラーシップ・ベーシック）</td></tr>
<tr><td colspan="4">Ⅱ．コミュニケーション</td></tr>
<tr><td colspan="4">千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>他者を理解し，お互いの立場を尊重した人間関係を構築して，医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>英語により医学・医療における情報を入手し，発信できる。<br>４）臨床的あるいは科学的論文の精読ができる。<br>５）医学情報を英語で発信できる。</td><td>C/D</td><td>基盤となる態度，スキルを示せることが単位認定の要件である</td></tr>
<tr><td colspan="4">Ⅵ．科学的探究</td></tr>
<tr><td colspan="4">千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>基礎，臨床，社会医学領域での研究の意義を理解し，科学的情報を評価し，新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。</td></tr>
<tr><td>1</td><td>医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。<br>６）医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。</td><td>D</td><td rowspan="2">基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</td></tr>
<tr><td>2</td><td>科学的研究で明らかになった新しい知見・高度先進医療を説明できる。<br>６）医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。</td><td>D</td></tr>
</table>

**6）評　　価　　法**

抄読会，カンファレンス等への参加を評価する（60%）

パフォーマンス評価（40%）

評価シート

| コンピテンス* | 知識 | 理解 | 提示** | 実践結果の提示 |
|---|---|---|---|---|
| 研究の意義 | □Basic（10点）*** | □Applied | □Applied | □Advanced |
| 結果の意義 | □Basic（10点） | □Applied | □Applied | □Advanced |
| 材料・方法 | □Basic（10点） | □Applied | □Applied | □Advanced |
| 背景・目的 | □Basic（10点） | □Basic（10点） | □Basic（10点） | □Advanced |

*該当する項目全てのコンピテンスが修得された状態の評価を「可」とする。

**Basicでは，レポートもしくはプレゼンテーション。Appliedでは，プレゼンテーション。パフォーマンス評価に用いる。

***（　）内の点数を評価の目安とする。

**7）実施概要と開設教室紹介**

**実施概要**

1）授業，ラボツアーに参加する。（１年次）

2）開設教室の抄読会，カンファレンスに参加し，自らも論文の精読，検索を行う。

3）各自が興味を持ち遂行したいテーマを提供する研究領域の教員と面談し，１年次～３年次の間における配属の許可を得る。

4）配属先の定員を越える希望者がある場合にはGPA等により選抜を行う。

5）適切な範囲内で，研究を行うテーマを変更することが可能であり，複数の領域の教員と相談しながら研

究を行っても良い。

6）抄読会・カンファレンス・セミナー・学会等への参加（15時間／年以上）。

7）メンターが与えた医学論文の精読（１編以上）。精読した医学論文の研究背景の理解をメンターおよびメンバーに提示（レポートもしくはプレゼンテーション）し，パフォーマンス評価を行う。（１回以上／年）

8）BCRC（平成28年２月６日(土)）に必ず参加すること。

**開設教室紹介**

後日，配付予定。

**8）授業スケジュール（１年次）**

| 授業実施日 | 時限 | 場　所 | 担当教員 | 授業種別 | 授業内容 | 授業内容の key word | 授業課題 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ４月15日(水) | Ⅰ・Ⅱ | 第一講義室 | 中島・坂本 | | ガイダンス<br>研究室紹介 | キャリア，ガイダンス | |
| ４月22日(水) | Ⅰ・Ⅱ | 第一講義室 | 中島・坂本 | | 研究室紹介<br>ガイダンス | | |
| ５月13日(水) | Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ | 各研究室 | 坂本 | | ラボツアー | | |
| ５月14日(木)～<br>６月12日(金) | Ⅴ | 各研究室 | 坂本 | | ラボツアー | | |
| ７月８日(水) | Ⅴ | 第二講義室 | 坂本 | | 配属調整 | | |
| 10月７日(水) | Ⅲ | 薬学部記念講堂 | 岩間 | 講義 | 研究倫理 | | |
| 10月14日(水) | Ⅲ | 薬学部記念講堂 | 中山 | 講義 | 論文の読み方・書き方・調べ方 | | |
| 10月21日(水) | Ⅲ | 薬学部記念講堂 | 金田 | 講義 | プレゼンテーション | | |
| 10月28日(水) | Ⅲ | 薬学部記念講堂 | 中島 | 講義 | さまざまなキャリア | | |
| 11月４日(水) | Ⅲ | 薬学部記念講堂 | 三木 | 講義 | さまざまなキャリア | | |

# ６年一貫医学英語プログラム

| | | |
|---|---|---|
| Ⅰ | 科目（コース）名 | ６年一貫医学英語プログラム |
| Ⅱ | コースの概要並びに学習項目 | グローバル化対応能力を修得し，英語による医学・医療コミュニケーションを実践できることを目標とする |
| Ⅲ | 科目(コース)責任者 | 白　澤　　浩 |
| Ⅳ | 対象学年 | １年次～６年次 |
| Ⅴ | 構成ユニット | |

| ユニット | ユニット責任者 | 時期 |
|---|---|---|
| 医学英語Ⅰ（必修・１単位） | 白　澤　　浩 | １年次通期 |
| 医学英語Ⅱ（必修・１単位） | 白　澤　　浩 | ２年次前期 |
| 医学英語Ⅲ（必修・１単位） | 白　澤　　浩 | ３年次後期 |
| 医学英語・アドバンスト（選択） | 白　澤　　浩 | ４～５年次通期 |
| 海外クリニカル・クラークシップ（選択） | 朝比奈　真由美 | ５～６年次 |

| 6年一貫医学英語カリキュラム（2015年度・1年次） | | | |
|---|---|---|---|
| 学　年 | | ユニット等 | 内　容 |
| 1年次 | 前期 | TOEFL-ITP試験 | クラス分け・実力試験 |
| | 後期 | 医学英語Ⅰ | 医学・医療における国際対話能力・<br>キャリア形成の基礎 |
| | | TOEFL-ITP試験（全学実施） | 評価試験 |
| 2年次 | 前期 | 医学英語Ⅱ－1 | 医学・医療英語プレゼンテーションの基礎 |
| | | 医学英語Ⅱ－2 | 英語による医療面接・基礎 |
| 3年次 | 後期 | 医学英語Ⅲ | 英語による身体診察・基礎 |
| 4・5年次 | 前期<br>後期 | 医学英語・アドバンスト（選択） | 英語による医療面接・実践<br>英語による身体診察・実践<br>英語による診療録作成<br>英語症例プレゼンテーション・実践 |
| 6年次 | 前期 | 海外クリニカル・クラークシップ（選択） | 海外臨床実習留学（大学CCとの単位互換） |

# 医学英語Ⅰ

**1）ユニット名**　医学英語Ⅰ

**2）ユニット責任者**　白　澤　　浩

**3）ユニット期間**　１年次通期

**4）ユニット担当教員**　山　内　かづ代，Eric Jego, Daniel Salcedo　他

**5）ユニットの概要**

**目　標：**①医学・医療分野におけるグローバルリテラシー（国際対話能力）を修得する。
②医学・医療分野における国際倫理常識を理解する。
③医学・医療分野における留学等のキャリアをデザインし自己の向上を図る。

**方　略：**講義，演習およびe-learning（TOEFL-ITP前期試験によりクラス分けを行う）
①アカデミック・イングリッシュ：「読む」「聞く」「書く」技術の向上
②メディカルイングリッシュ・コミュニケーション：「聞く」「話す」技術の向上

**評価法：**①TOEFL-ITP後期試験（40%）
②メディカルイングリッシュ・コミュニケーション面接試験（40%）
③授業におけるパフォーマンス，小テスト，課題（20%）

**6）ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル**

| 学習アウトカム | | 科目達成レベル（医学英語Ⅰ） | |
|---|---|---|---|
| **Ⅰ．倫理観とプロフェッショナリズム** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>患者とその関係者，医療チームのメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。 | | | |
| 1 | 倫理的問題を理解し，倫理的原則に基づいて行動できる。<br>・医学英語論文の倫理的事項を理解できる。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |
| 7 | 自らのキャリアをデザインし，自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。<br>・授業における課題，e-learningを活用し反復学習ができる。<br>・海外クリニカル・クラークシップ留学時に必要とされる英語能力の取得を図ることができる。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |
| **Ⅱ．コミュニケーション** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>他者を理解し，お互いの立場を尊重した人間関係を構築して，医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。 | | | |
| 3 | 英語により医学・医療における情報を入手し，発信できる。<br>・４技能を高いレベルで向上させ，情報を入手するスキルを身につけることができる。<br>・医学英語論文の読み方および医療グローバル・コミュニケーションを習得し，医学・医療情報を入手できる。 | C | 基盤となる態度，スキルを示せることが単位認定の要件である |

<table>
<tr><td colspan="2">学習アウトカム</td><td colspan="2">科目達成レベル<br>（医学英語Ⅰ）</td></tr>
<tr><td colspan="4">Ⅵ．科学的探究</td></tr>
<tr><td colspan="4">千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>　基礎，臨床，社会医学領域での研究の意義を理解し，科学的情報を評価し，新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。</td></tr>
<tr><td>1</td><td>医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。<br>・医学英語論文を読み込み理解できる。</td><td>D</td><td>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</td></tr>
</table>

**7）授業スケジュール**

後期・毎週水曜日Ⅰ・Ⅱ限（別ページカレンダーを参照のこと）

詳細は９月上旬に医学部moodleに掲載

**8）単位認定要件**

評価全体で60％をクリアすることが医学英語Ⅰの単位認定要件である。

**9）備　　　考**

２年次１月末までのTOEFL-ITP500点以上の獲得が医学英語Ⅱの単位認定要件である。

（TOEFL-ITPは入学後からの受検結果が対象となる。）

# 医学英語Ⅱ

**1）ユ ニ ッ ト 名**　医学英語Ⅱ

**2）ユニット責任者**　白　澤　　浩

**3）ユ ニ ッ ト 期 間**　２年次前期

**4）ユニット担当教員**　Daniel Salcedo, Eric Jego，山　内　かづ代　他

**5）ユニットの概要**

**■　医学英語Ⅱ－１：英語による医学・医療プレゼンテーション・基礎**

**担当教員**：Daniel Salcedo

**目　　標**：①英語プレゼンテーションの構成を理解し作成することができる
②効果的な英語プレゼンテーションの基礎を理解し実践することができる

**方　　略**：講義，演習およびe-learning（医学英語Ⅰの評価を参考にクラス分けを行う）

**評 価 法**：授業におけるパフォーマンス，小テスト，課題

**■　医学英語Ⅱ－２：英語による医療面接・基礎**

**担当教員**：Eric Jego，山内かづ代

**目　　標**：英語による医療面接の基礎（患者医師コミュニケーション・病歴聴取）を理解し実践することができる

**方　　略**：講義，模擬患者等に対する演習およびe-learning（医学英語Ⅰの評価を参考にクラス分けを行う）

**評 価 法**：①English OSCE（医療面接試験）（40％）
②授業におけるパフォーマンス，小テスト，課題（60％）

**6）ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル**

| 学習アウトカム | | 科目達成レベル（医学英語Ⅱ） | |
|---|---|---|---|
| **Ⅰ．倫理観とプロフェッショナリズム** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>患者とその関係者，医療チームメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。 | | | |
| 1 | 倫理的問題を理解し，倫理的原則に基づいて行動できる<br>・患者医師コミュニケーションの倫理を理解することができる。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |
| 7 | 自らのキャリアをデザインし，自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。<br>・授業における課題，e-learningを活用し反復学習ができる。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |
| **Ⅱ．コミュニケーション** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>他者を理解し，お互いの立場を尊重した人間関係を構築して，医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。 | | | |
| 1 | 患者，患者家族，医療チームのメンバーと，個人，文化，社会的背景を踏まえて傾聴，共感，理解，指示的態度を示すコミュニケーションを実施できる。<br>・英語による上記コミュニケーションに必要な医学・医療専門用語・会話を理解することができる。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |

| 学習アウトカム | | 科目達成レベル（医学英語Ⅱ） | |
|---|---|---|---|
| 2 | コミュニケーションにより，患者，患者家族，医療チームのメンバーとの信頼関係を築き，情報収集，説明と同意，教育など医療の基本を実践できる。<br>・英語による患者からの基本情報を正確に理解できる | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |
| 3 | 英語により医学・医療における情報を入手し，発信できる。<br>・情報入手のための医学・医療専門用語を理解できる。<br>・英語による医療面接の内容を理解し病歴聴取の演習ができる。<br>・英語による医学・医療プレゼンテーションの内容を理解し演習できる。 | C | 基盤となる態度・スキルを示せることが単位認定の要件である |
| **Ⅳ．診療の実践** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>患者に対して思いやりと敬意を示し，患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。 | | | |
| 1 | 患者の主要な病歴を正確に聴取できる。<br>・英語による病歴聴取の内容を理解できる。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |
| 2 | 医療文書を適切に作成し，プレゼンテーションできる。<br>・英語による医療文書情報の基礎的な内容を理解し作成できる。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |
| **Ⅵ．科学的探求** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>基礎，臨床，社会医学領域での研究の意義を理解し，科学的情報を評価し，新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。 | | | |
| 1 | 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。<br>・英語医学文書から患者医師コミュニケーションに必要な事項を理解することができる。<br>・英語医学文書から入手・理解し有効にプレゼンテーションできる。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |

**7）授業スケジュール**

前期・毎週水曜日（別ページカレンダーを参照のこと）

詳細スケジュールは学年オリエンテーション時に配布および医学部moodleに掲載

**8）単位認定要件**

医学英語Ⅱ－１，Ⅱ－２の評価をクリアすると共に，２年次１月末までのTOEFL-ITP500点以上の獲得が医学英語Ⅱの単位認定要件である。（TOEFL-ITPは入学時からの受検結果が対象となる。）

# 医学英語Ⅲ

**1）ユ ニ ッ ト 名**　医学英語Ⅲ

**2）ユニット責任者**　白　澤　　浩

**3）ユ ニ ッ ト 期 間**　３年次後期

**4）ユニット担当教員**　Daniel Salcedo，山　内　かづ代　他

**5）ユニットの概要**

英語による身体診察・基礎

**目　　標**：英語による身体診察の基礎を理解し実践することができる

**方　　略**：講義，模擬患者等に対する演習およびe-learning（医学英語Ⅱの評価を参考にクラス分けを行う）

**6）ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル**

| 学習アウトカム | | 科目達成レベル<br>（医学英語Ⅲ） | |
|---|---|---|---|
| **Ⅰ．倫理観とプロフェッショナリズム** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>　患者とその関係者，医療チームメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。 | | | |
| 1 | 倫理的問題を理解し，倫理的原則に基づいて行動できる<br>・身体診察に必要な倫理を理解することができる。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |
| 7 | 自らのキャリアをデザインし，自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。<br>・授業における課題，e-learningを活用し反復学習ができる。 | D | 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である |
| **Ⅱ．コミュニケーション** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>　他者を理解し，お互いの立場を尊重した人間関係を構築して，医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。 | | | |
| 1 | 患者，患者家族，医療チームのメンバーと，個人，文化，社会的背景を踏まえて傾聴，共感，理解，指示的態度を示すコミュニケーションを実施できる。<br>・身体診察に有効な英語コミュニケーションを理解し模擬患者等に対し実践できる。 | C | 基盤となる態度・スキルを示せることが単位認定の要件である |
| 2 | コミュニケーションにより，患者，患者家族，医療チームのメンバーとの信頼関係を築き，情報収集，説明と同意，教育など医療の基本を実践できる。<br>・身体診察に有効な英語コミュニケーションを理解し模擬患者等に対し実践できる。 | C | 基盤となる態度・スキルを示せることが単位認定の要件である |
| 3 | 英語により医学・医療における情報を入手し，発信できる。<br>・模擬患者等に対し英語により主要な病歴を聴取し，基礎的な身体診察を実践できる。 | B | 授業内で模擬的に実践できることが単位認定の要件である |

| 学習アウトカム | | 科目達成レベル（医学英語Ⅲ） | |
|---|---|---|---|
| **Ⅳ．診療の実践** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>患者に対して思いやりと敬意を示し，患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる | | | |
| 2 | 医療文書を適切に作成し，プレゼンテーションできる。<br>・模擬患者等に対し英語により主要な病歴を聴取，基本的な身体診察を行い，簡単な診療録を作成できる。 | B | 授業内で模擬的に実践できることが単位認定の要件である |
| **Ⅵ．科学的探求** | | | |
| 千葉大学医学部学生は，卒業時に<br>基礎，臨床，社会医学領域での研究の意義を理解し，科学的情報を評価し，新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。 | | | |
| 1 | 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。<br>・身体診察に必要な知識を英語医学文書から入手・理解し理解・実践する。 | C | 基盤となる態度・スキルを示せることが単位認定の要件である |

**7）授業スケジュール**

後期・毎週月曜日（別ページカレンダーを参照のこと）

詳細スケジュールは８月上旬に医学部moodleに掲載

**8）評　　価　　法**

①English OSCE（身体診察試験）（50%）

②授業におけるパフォーマンス，小テスト，課題（50%）

# 医学英語・アドバンスト

**1）ユニット名**　医学英語・アドバンスト（選択）

**2）ユニット責任者**　白　澤　　浩

**3）ユニット期間**　４～５年次通年

**4）ユニット担当教員**　Daniel Salcedo，山　内　かづ代

**5）ユニットの概要**　①模擬患者に対し英語による医療面接の応用を実践することができる
②模擬患者に対し英語による身体診察を実践することができる
③診療録で用いる基本英語表現を理解し作成できる
④英語による症例プレゼンテーションを実践することができる

**6）ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル**

Ⅱ．コミュニケーション

３．英語により医学医療における情報を入手し発信できる→B：模擬診察を実施できることが単位認定の要件である

**7）方　　略**

講義，模擬患者に対する演習およびe-learning

**8）スケジュール**

・３月下旬に履修者決定。履修者対象オリエンテーション後に履修登録証を学務係に提出。
・授業スケジュール：４月から12月，毎週月曜日18：00～21：00（全20回）
・授業詳細スケジュールは履修者が決定した段階で周知及び医学部moodleに掲載

**9）評　価　法**

①English OSCE（60％）
②授業におけるパフォーマンスおよび課題（40％）
＊優秀者には単位認定およびDiplomaを発行する

**10）実施概要**

１．本ユニットは海外大学におけるクリニカル・クラークシップ留学の希望者を中心に，４～５年次20名の履修を目安とする。
２．本コースの受講者は留学及び授業内容に対し興味を持ち，積極的に取り組める者に限る。
３．本ユニットはTOEFL-iBT80，TOEFL-ITP550程度の英語能力を基準として行われる。
４．履修希望者多数の場合はTOEFL（またはそれに準ずるもの）の点数およびGPA等による選考を行う。2015-2016年留学予定者もしくは本ユニット未履修者を優先に選考する。
５．本ユニットの評価を留学資格の参考とする。
６．受講料を別途必要とする（模擬患者謝金・備品代等，詳細はオリエンテーションで説明）。

# 海外クリニカル・クラークシップ

**1）ユ ニ ッ ト 名**　海外クリニカル・クラークシップ（選択）

**2）ユニット責任者**　朝比奈　真由美

**3）ユニット期間**　５年次後期～６年次前期

**4）ユニット担当教員**　山　内　かづ代

**5）ユニットの概要**

①海外大学病院（米国，韓国，ドイツ，タイ等）でのクリニカル・クラークシップを実践する。

②患者に対する英語での医療面接，身体診察の現場を経験し，医療者に対する症例プレゼンテーションを実践する。

**6）ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル**

Ⅱ．コミュニケーション

３．英語により医学医療における情報を入手し発信できる→Ａ：診察の一部として実践することが単位認定の要件である

**7）スケジュール**

実施大学・選択科により異なる

**8）評　価　法**

実施大学における指導医評価（６年次の本学における評価に反映される）

**9）備　　　考**

募集要項等の詳細は医学部moodle「グローバル・留学情報」を参照のこと

# 1年次スケジュール

| | | | 4月1日(水) | 4月2日(木) | 4月3日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 4月6日(月) | 4月7日(火) | 4月8日(水) | 4月9日(木) | 4月10日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 4月13日(月) | 4月14日(火) | 4月15日(水) | 4月16日(木) | 4月17日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | スカラーシップ ガイダンス | | |
| Ⅱ | | | スカラーシップ 研究室紹介 | | |
| Ⅲ | | | IPE (救急) | | |
| Ⅳ | | | IPE (救急) | | |
| Ⅴ | | | IPE (救急) | | |

| | 4月20日(月) | 4月21日(火) | 4月22日(水) | 4月23日(木) | 4月24日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | スカラーシップ 研究室紹介 | | |
| Ⅱ | | | スカラーシップ ガイダンス | | |
| Ⅲ | | | IPE (救急) | | |
| Ⅳ | | | IPE (救急) | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 4月27日(月) | 4月28日(火) | 4月29日(水) | 4月30日(木) | 5月1日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | 昭和の日 | 普遍教育曜日振替日(水) | 普遍教育曜日振替日(月) |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 5月4日(月) | 5月5日(火) | 5月6日(水) | 5月7日(木) | 5月8日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | みどりの日 | こどもの日 | 振替休日 | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 5月11日(月) | 5月12日(火) | 5月13日(水) | 5月14日(木) | 5月15日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅲ | | | スカラーシップ ラボツアー | | |
| Ⅳ | | | スカラーシップ ラボツアー | | |
| Ⅴ | | | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー |

| | 5月18日(月) | 5月19日(火) | 5月20日(水) | 5月21日(木) | 5月22日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 導入TUT (図書館) | | |
| Ⅱ | | | 導入TUT (図書館) | | |
| Ⅲ | | | IPE | | |
| Ⅳ | | | IPE | | |
| Ⅴ | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー |

| | 5月25日(月) | 5月26日(火) | 5月27日(水) | 5月28日(木) | 5月29日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 導入TUT | | |
| Ⅱ | | | 導入TUT | | |
| Ⅲ | | | IPE | | |
| Ⅳ | | | IPE | | |
| Ⅴ | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー |

| | 6月1日(月) | 6月2日(火) | 6月3日(水) | 6月4日(木) | 6月5日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 導入TUT | | |
| Ⅱ | | | 導入TUT | | |
| Ⅲ | | | IPE | | |
| Ⅳ | | | IPE | | |
| Ⅴ | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー |

| | 6月8日(月) | 6月9日(火) | 6月10日(水) | 6月11日(木) | 6月12日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 導入TUT | | |
| Ⅱ | | | 導入TUT | | |
| Ⅲ | | | IPE | | |
| Ⅳ | | | IPE | | |
| Ⅴ | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー | スカラーシップ ラボツアー |

| | 6月15日(月) | 6月16日(火) | 6月17日(水) | 6月18日(木) | 6月19日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 導入TUT | | |
| Ⅱ | | | 導入TUT | | |
| Ⅲ | | | IPE | | |
| Ⅳ | | | IPE | | |
| Ⅴ | | | IPE | | |

**【Ⅰ時限】**8：50～10：20　**【Ⅱ時限】**10：30～12：00　**【Ⅲ時限】**12：50～14：20　**【Ⅳ時限】**14：30～16：00　**【Ⅴ時限】**16：10～17：40

| | 6月22日(月) | 6月23日(火) | 6月24日(水) | 6月25日(木) | 6月26日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 導入TUT | | |
| Ⅱ | | | 導入TUT | | |
| Ⅲ | | | I P E | | |
| Ⅳ | | | I P E | | |
| Ⅴ | | | I P E | | |

| | 6月29日(月) | 6月30日(火) | 7月1日(水) | 7月2日(木) | 7月3日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 導入TUT | | |
| Ⅱ | | | 導入TUT | | |
| Ⅲ | | | I P E | | |
| Ⅳ | | | I P E | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 7月6日(月) | 7月7日(火) | 7月8日(水) | 7月9日(木) | 7月10日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 導入TUT | | |
| Ⅱ | | | 導入TUT | | |
| Ⅲ | | | I P E | | |
| Ⅳ | | | I P E | | |
| Ⅴ | | | スカラーシップ配属調整 | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 7月13日(月) | 7月14日(火) | 7月15日(水) | 7月16日(木) | 7月17日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ (TOEFL-ITP) | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ (TOEFL-ITP) | | |
| Ⅲ | | | I P E | | |
| Ⅳ | | | I P E | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 7月20日(月) | 7月21日(火) | 7月22日(水) | 7月23日(木) | 7月24日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | 海の日 | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 7月27日(月) | 7月28日(火) | 7月29日(水) | 7月30日(木) | 7月31日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 8月3日(月) | 8月4日(火) | 8月5日(水) | 8月6日(木) | 8月7日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 8月10日(月) | 8月11日(火) | 8月12日(水) | 8月13日(木) | 8月14日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 8月17日(月) | 8月18日(火) | 8月19日(水) | 8月20日(木) | 8月21日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 8月24日(月) | 8月25日(火) | 8月26日(水) | 8月27日(木) | 8月28日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 8月31日(月) | 9月1日(火) | 9月2日(水) | 9月3日(木) | 9月4日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 9月7日(月) | 9月8日(火) | 9月9日(水) | 9月10日(木) | 9月11日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

**【Ⅰ時限】**8：50〜10：20　**【Ⅱ時限】**10：30〜12：00　**【Ⅲ時限】**12：50〜14：20　**【Ⅳ時限】**14：30〜16：00　**【Ⅴ時限】**16：10〜17：40

| | 9月14日(月) | 9月15日(火) | 9月16日(水) | 9月17日(木) | 9月18日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 9月21日(月) | 9月22日(火) | 9月23日(水) | 9月24日(木) | 9月25日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | 敬老の日 | 振替休日 | 秋分の日 | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 9月28日(月) | 9月29日(火) | 9月30日(水) | 10月1日(木) | 10月2日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 10月5日(月) | 10月6日(火) | 10月7日(水) | 10月8日(木) | 10月9日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅲ | | | スカラーシップ講義 | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 10月12日(月) | 10月13日(火) | 10月14日(水) | 10月15日(木) | 10月16日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅲ | 体育の日 | | スカラーシップ講義 | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 10月19日(月) | 10月20日(火) | 10月21日(水) | 10月22日(木) | 10月23日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅲ | | | スカラーシップ講義 | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 10月26日(月) | 10月27日(火) | 10月28日(水) | 10月29日(木) | 10月30日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅲ | | | スカラーシップ講義 | 大学祭準備 | 大学祭準備 |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | | |

| | 11月2日(月) | 11月3日(火) | 11月4日(水) | 11月5日(木) | 11月6日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅲ | 大学祭片付け | 文化の日 | スカラーシップ講義 | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 11月9日(月) | 11月10日(火) | 11月11日(水) | 11月12日(木) | 11月13日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 11月16日(月) | 11月17日(火) | 11月18日(水) | 11月19日(木) | 11月20日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 11月23日(月) | 11月24日(火) | 11月25日(水) | 11月26日(木) | 11月27日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅲ | 勤労感謝の日 | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 11月30日(月) | 12月1日(火) | 12月2日(水) | 12月3日(木) | 12月4日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

【Ⅰ時限】8：50～10：20　【Ⅱ時限】10：30～12：00　【Ⅲ時限】12：50～14：20　【Ⅳ時限】14：30～16：00　【Ⅴ時限】16：10～17：40

| | 12月7日(月) | 12月8日(火) | 12月9日(水) | 12月10日(木) | 12月11日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ（試験） | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ（試験） | | |
| Ⅲ | | | 医学英語Ⅰ（試験） | | |
| Ⅳ | | | 医学英語Ⅰ（試験） | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 12月14日(月) | 12月15日(火) | 12月16日(水) | 12月17日(木) | 12月18日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 12月21日(月) | 12月22日(火) | 12月23日(水) | 12月24日(木) | 12月25日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | 天皇誕生日 | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | | | |

| | 12月28日(月) | 12月29日(火) | 12月30日(水) | 12月31日(木) | H28 1月1日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | 元日 |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 1月4日(月) | 1月5日(火) | 1月6日(水) | 1月7日(木) | 1月8日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | 普遍教育曜日振替日（月） | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 1月11日(月) | 1月12日(火) | 1月13日(水) | 1月14日(木) | 1月15日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | 成人の日 | | | | センター試験前日 |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | |

| | 1月18日(月) | 1月19日(火) | 1月20日(水) | 1月21日(木) | 1月22日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 1月25日(月) | 1月26日(火) | 1月27日(水) | 1月28日(木) | 1月29日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | 医学英語Ⅰ(TOEFL-ITP) | | |
| Ⅱ | | | 医学英語Ⅰ(TOEFL-ITP) | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | スカラーシップD | スカラーシップE |

| | 2月1日(月) | 2月2日(火) | 2月3日(水) | 2月4日(木) | 2月5日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | 普遍教育曜日振替日（月） | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | スカラーシップB | スカラーシップC | | スカラーシップE |

| | 2月8日(月) | 2月9日(火) | 2月10日(水) | 2月11日(木) | 2月12日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | 建国記念の日 | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | スカラーシップA | | | | |

| | 2月15日(月) | 2月16日(火) | 2月17日(水) | 2月18日(木) | 2月19日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | 普遍教育試験・補講日（木） | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 2月22日(月) | 2月23日(火) | 2月24日(水) | 2月25日(木) | 2月26日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

【Ⅰ時限】8：50～10：20　【Ⅱ時限】10：30～12：00　【Ⅲ時限】12：50～14：20　【Ⅳ時限】14：30～16：00　【Ⅴ時限】16：10～17：40

| | 2月29日(月) | 3月1日(火) | 3月2日(水) | 3月3日(木) | 3月4日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 3月7日(月) | 3月8日(火) | 3月9日(水) | 3月10日(木) | 3月11日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 3月14日(月) | 3月15日(火) | 3月16日(水) | 3月17日(木) | 3月18日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 3月21日(月) | 3月22日(火) | 3月23日(水) | 3月24日(木) | 3月25日(金) |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | 振替休日 | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

| | 3月28日(月) | 3月29日(火) | 3月30日(水) | 3月31日(木) | |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | | | | | |
| Ⅱ | | | | | |
| Ⅲ | | | | | |
| Ⅳ | | | | | |
| Ⅴ | | | | | |

**【Ⅰ時限】**8：50～10：20　**【Ⅱ時限】**10：30～12：00　**【Ⅲ時限】**12：50～14：20　**【Ⅳ時限】**14：30～16：00　**【Ⅴ時限】**16：10～17：40